



平成29年12月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年10月30日

上場会社名 ソフトブレイン株式会社
 コード番号 4779 URL <http://www.softbrain.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 豊田 浩文
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部長 (氏名) 木下 鉄平
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月14日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 03-6880-2600

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年12月期第3四半期の連結業績(平成29年1月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|--------------|-------|------|------|------|------|------|------------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 29年12月期第3四半期 | 5,882 | 4.6 | 655 | 6.8 | 658 | 5.9 | 425 | 0.2 |
| 28年12月期第3四半期 | 5,625 | 33.1 | 703 | 37.5 | 699 | 36.5 | 426 | 50.7 |

(注) 包括利益 29年12月期第3四半期 442百万円 (2.9%) 28年12月期第3四半期 455百万円 (45.1%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|--------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 29年12月期第3四半期 | 14.51 | |
| 28年12月期第3四半期 | 14.56 | |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|--------------|-------|-------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 29年12月期第3四半期 | 5,550 | 3,865 | 66.3 | 125.59 |
| 28年12月期 | 5,355 | 3,568 | 63.5 | 116.09 |

(参考) 自己資本 29年12月期第3四半期 3,681百万円 28年12月期 3,401百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|-------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 28年12月期 | | 0.00 | | 5.00 | 5.00 |
| 29年12月期 | | 0.00 | | | |
| 29年12月期(予想) | | | | 7.00 | 7.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年12月期の連結業績予想(平成29年1月1日～平成29年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|-------|-----|-------|-----|-------|-----|-----------------|-----|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 8,200 | 6.2 | 1,060 | 4.5 | 1,060 | 4.5 | 670 | 1.9 | 22.86 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|-------------------|-----------|--------------|-----------|--------------|
| 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 29年12月期3Q | 30,955,000 株 | 28年12月期 | 30,955,000 株 |
| 期末自己株式数 | 29年12月期3Q | 1,640,900 株 | 28年12月期 | 1,654,600 株 |
| 期中平均株式数(四半期累計) | 29年12月期3Q | 29,309,149 株 | 28年12月期3Q | 29,265,447 株 |

(注) 期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式数には、従業員向け株式交付制度「株式付与ESOP信託」に係る信託財産として、日本マスタートラスト信託銀行株式会社(株式付与ESOP信託口)が所有している当社株式(平成29年12月期3Q:90,900株、平成28年12月期:104,600株、平成28年12月期3Q:104,600株)を含めております。

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1.(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (追加情報) | 8 |
| (セグメント情報等) | 9 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の連結業績は、

| | |
|------------------|-----------------------|
| 売上高 | 5,882百万円 (前年同期比4.6%増) |
| 営業利益 | 655百万円 (同6.8%減) |
| 経常利益 | 658百万円 (同5.9%減) |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 425百万円 (同0.2%減) |

となりました。

当第3四半期連結累計期間はフィールドマーケティング事業、システム開発事業、出版事業が減収となったものの、eセールスマネージャー関連事業がそれを補い、増収となりました。一方、利益面は、eセールスマネージャー関連事業は増益となりましたが、他3事業の利益減少の影響により、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益とも減益となりました。

各セグメントの業績については以下の通りです。

1. eセールスマネージャー関連事業

2017年10月2日発表の日銀短観によると、2017年度の日本国内のソフトウェア投資計画は前期比+7.6%と中堅・中小企業を中心に回復基調となっております。

そのような環境下、当第3四半期連結累計期間は、当社の主力製品であるCRM/SFAソフトウェア「eセールスマネージャー」について、引き続き大型案件の獲得により売上が増加いたしました。また、営業課題にフォーカスしたコンサルティング、スキルトレーニングなども需要は根強く、堅調に推移いたしました。以上の結果、売上高は3,026百万円(前年同期比18.0%増)、増収効果によりセグメント利益は522百万円(同40.8%増)となりました。

2. フィールドマーケティング事業

当事業におきましては、大型案件の運用が安定したため、更なる成長に向け、これまでの店頭中心から業種や業務の幅を拡大した「フィールド・クラウドソーシング」という新たな事業コンセプトの下、新たな市場創出に向けた取り組みを行っています。

当第3四半期連結累計期間は、フィールド活動一括受託などストックビジネスにつきましては安定的に推移しているものの、店頭調査等のスポット案件については前年同期と比較して減少しており、また、更なる成長に向けて体制強化と新規事業への積極的な投資を進めたことなどにより、売上高は2,357百万円(同5.1%減)、セグメント利益は163百万円(同47.0%減)となりました。

3. システム開発事業

当第3四半期連結累計期間は、売上高321百万円(同14.4%減)、セグメント利益1百万円(同63.2%減)となりました。

引き続き既存顧客の深耕と新規顧客の獲得、プロジェクト管理の徹底に努めましたが、一部大型案件の規模縮小の影響により減収減益となりました。

4. 出版事業

当第3四半期連結累計期間の業績は、書籍販売の減少に加え、制作コストの増加や在庫評価減の影響により収益性が悪化いたしました。以上の結果、売上高は177百万円(同12.2%減)、セグメント利益は31百万円の赤字(前年同期は21百万円の黒字)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当社グループの当第3四半期連結会計期間末の資産、負債、純資産の状況は、

| | |
|-----|----------------------------|
| 資 産 | 5,550百万円 (前連結会計年度末比 3.6%増) |
| 負 債 | 1,684百万円 (前連結会計年度末比 5.7%減) |
| 純資産 | 3,865百万円 (前連結会計年度末比 8.3%増) |

となりました。当第3四半期連結会計期間末の財政状態の分析は、以下の通りです。

<資産>

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ195百万円増加し、5,550百万円となりました。その主たる要因は、現金及び預金が137百万円減少したものの、ソフトウェアが104百万円、差入保証金が94百万円、受取手形及び売掛金が74百万円、仕掛品が13百万円増加したことによるものです。

<負債>

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ101百万円減少し、1,684百万円となりました。その主たる要因は、支払手形及び買掛金が45百万円、長期借入金が42百万円、未払金が31百万円減少したものの、前受金が104百万円増加したことによるものです。

<純資産>

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ296百万円増加し3,865百万円となりました。その主たる要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が278百万円増加したことによるものです。自己資本比率は、66.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期業績予想につきましては、平成29年1月30日に公表いたしました平成29年12月期連結業績予想から修正しておりません。

なお、上記の予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれておりません。そのため様々な要因の変化により、実際の業績はこれと大きく異なる可能性がある事をご承知おさください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

| | 前連結会計年度 (平成28年12月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成29年9月30日) |
|---------------|--------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 3,177,101 | 3,039,358 |
| 受取手形及び売掛金 | 1,329,305 | 1,403,702 |
| 商品及び製品 | 44,694 | 38,140 |
| 仕掛品 | 132,069 | 146,019 |
| 繰延税金資産 | 46,281 | 51,813 |
| その他 | 136,985 | 180,387 |
| 貸倒引当金 | △8,036 | △15,249 |
| 流動資産合計 | 4,858,401 | 4,844,171 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 64,092 | 64,399 |
| 減価償却累計額 | △46,366 | △49,089 |
| 建物及び構築物(純額) | 17,725 | 15,309 |
| 工具、器具及び備品 | 265,547 | 302,289 |
| 減価償却累計額 | △208,468 | △231,121 |
| 工具、器具及び備品(純額) | 57,078 | 71,168 |
| その他 | 2,916 | - |
| 有形固定資産合計 | 77,720 | 86,478 |
| 無形固定資産 | | |
| ソフトウェア | 322,527 | 426,760 |
| その他 | 915 | 915 |
| 無形固定資産合計 | 323,442 | 427,675 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 2,500 | 2,500 |
| 差入保証金 | 84,075 | 178,128 |
| 長期滞留債権 | 45,193 | 47,736 |
| 繰延税金資産 | 6,009 | 8,422 |
| その他 | 3,000 | 3,000 |
| 貸倒引当金 | △45,193 | △47,736 |
| 投資その他の資産合計 | 95,584 | 192,051 |
| 固定資産合計 | 496,746 | 706,205 |
| 資産合計 | 5,355,148 | 5,550,377 |

(単位:千円)

| | 前連結会計年度 (平成28年12月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成29年9月30日) |
|---------------|--------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 285,707 | 240,424 |
| 未払金 | 349,969 | 318,864 |
| 未払役員賞与 | 30,082 | - |
| 短期借入金 | 100,000 | 100,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 56,000 | 56,000 |
| 未払法人税等 | 152,713 | 138,778 |
| 前受金 | 354,184 | 458,969 |
| 賞与引当金 | 47,052 | 70,302 |
| 役員賞与引当金 | - | 20,365 |
| 返品調整引当金 | 12,489 | 9,906 |
| 株式給付引当金 | 6,131 | - |
| その他 | 245,883 | 161,389 |
| 流動負債合計 | 1,640,213 | 1,574,999 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 140,000 | 98,000 |
| 株式給付引当金 | - | 6,873 |
| その他 | 6,136 | 4,818 |
| 固定負債合計 | 146,136 | 109,692 |
| 負債合計 | 1,786,349 | 1,684,691 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 826,064 | 826,064 |
| 資本剰余金 | 367,795 | 367,795 |
| 利益剰余金 | 2,461,302 | 2,739,571 |
| 自己株式 | △253,574 | △251,820 |
| 株主資本合計 | 3,401,588 | 3,681,610 |
| 非支配株主持分 | 167,210 | 184,075 |
| 純資産合計 | 3,568,798 | 3,865,685 |
| 負債純資産合計 | 5,355,148 | 5,550,377 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日) |
|------------------|---|---|
| 売上高 | 5,625,984 | 5,882,399 |
| 売上原価 | 3,600,589 | 3,658,937 |
| 売上総利益 | 2,025,395 | 2,223,461 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,321,667 | 1,567,890 |
| 営業利益 | 703,728 | 655,571 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 314 | 126 |
| 助成金収入 | 2,365 | 2,769 |
| 違約金収入 | - | 1,537 |
| 保険解約返戻金 | - | 181 |
| その他 | 96 | 93 |
| 営業外収益合計 | 2,776 | 4,709 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 1,313 | 995 |
| 為替差損 | 5,498 | 1,023 |
| 営業外費用合計 | 6,811 | 2,018 |
| 経常利益 | 699,693 | 658,261 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | - | 1,238 |
| 特別損失合計 | - | 1,238 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 699,693 | 657,023 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 191,596 | 222,810 |
| 法人税等調整額 | 52,856 | △7,945 |
| 法人税等合計 | 244,452 | 214,865 |
| 四半期純利益 | 455,241 | 442,158 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 29,198 | 16,864 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 426,042 | 425,293 |

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純利益 | 455,241 | 442,158 |
| 四半期包括利益 | 455,241 | 442,158 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 426,042 | 425,293 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 29,198 | 16,864 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

(表示方法の変更)

(四半期連結損益計算書)

前第3四半期連結累計期間において区分掲記しておりました「返品調整引当金戻入額」は、金額的重要性が乏しいため、当第3四半期連結累計期間より「売上原価」に含めて表示しております。

この表示方法の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前第3四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書において、「売上原価」に含まれている「返品調整引当金戻入額」の金額は324千円であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年1月1日至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | 合計 | 調整額 (注) 1 | 四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2 |
|---------------------------|-------------------------|------------------------|--------------|---------|-----------|--------------|----------------------------|
| | eセールスマ ネージャー 関連事業 | フィールド マーケティ ング事業 | システム 開発事業 | 出版事業 | | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上 高 | 2,566,211 | 2,482,876 | 375,293 | 201,603 | 5,625,984 | - | 5,625,984 |
| セグメント間の内 部売上高又は振替 高 | 18,422 | 9,981 | 36,231 | 2,055 | 66,690 | △66,690 | - |
| 計 | 2,584,634 | 2,492,857 | 411,524 | 203,658 | 5,692,675 | △66,690 | 5,625,984 |
| セグメント利益 | 371,389 | 307,532 | 2,945 | 21,849 | 703,716 | 11 | 703,728 |

(注) 1. セグメント利益の調整額11千円には、固定資産の調整197千円、棚卸資産の調整額△186千円が含まれて
おります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年1月1日至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | 合計 | 調整額 (注) 1 | 四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2 |
|---------------------------|-------------------------|------------------------|--------------|---------|-----------|--------------|----------------------------|
| | eセールスマ ネージャー 関連事業 | フィールド マーケティ ング事業 | システム 開発事業 | 出版事業 | | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上 高 | 3,026,986 | 2,357,110 | 321,212 | 177,089 | 5,882,399 | - | 5,882,399 |
| セグメント間の内 部売上高又は振替 高 | 21,913 | 2,638 | 45,493 | - | 70,044 | △70,044 | - |
| 計 | 3,048,899 | 2,359,748 | 366,706 | 177,089 | 5,952,443 | △70,044 | 5,882,399 |
| セグメント利益 | 522,760 | 163,104 | 1,084 | △31,176 | 655,772 | △201 | 655,571 |

(注) 1. セグメント利益の調整額△201千円には、固定資産の調整47千円、棚卸資産の調整額△248千円が含まれ
ております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。